

ジポーリン・ジョウシュウ

Zhoushu Ziporyn

## 履歴書

### --学歴--

- 2019-2021:** 米国プリンストン大学大学院修士 Master of Arts in Music Cognition and Composition 取得。（音楽認識学・作曲）  
大学内ロイ・ディキンソン・ウェルチ・フェロー研究員（Roy Dickinson Welch Fellow）に所属・勤務
- 2013-2017:** 米国カリフォルニア大学バークレー校を主席で卒業（音楽と哲学のダブル専攻）。  
ファイ・ベータ・カッパに選出される

#### 1) 学内受賞

- 2017 卒業予定生で、もっとも優れた音楽的成果を成し遂げたものに与えられる、マシュー・ウィリアム・フィッシャー・メモリアル賞（Mathew William Fisher Memorial Award）受賞
- 2017 ロザリン・シュナイダー・アイズナー音楽賞（Roselyn Schneider Eisner Music Prize）受賞
- 2016 ニコラ・デ・ロレンゾ作曲賞（Nicola De Lorenzo Prize in Music Composition）受賞
- 2016 アルフレッド・ヘルツ・メモリアル作曲奨学金（Alfred Hertz Memorial Scholarship in Composition）を授与される

- #### 2) 世界的チェンバロ奏者デイヴィット・モロニー教授指導のバロック・アンサンブルに所属。楽曲提供。バロックバイオリン首席奏者

- 2016 モロニー教授退職前最後の記念演奏会のためにデイヴィット・モロニー教授に楽曲提供。初演および録音はモロニー教授の演奏。曲名：“Une Teinte de Jaune Bleuâtre qui Fait Plisser Les Yeux”
- 2015 イタリアバロック作曲家コレルリに敬意を示すテーマの学期末演奏会のためにオマーージュ楽曲提供。曲名：“Corelli Listens to the Dawn”
- 2014 学期末演奏会のために楽曲提供。曲名：“Blurred Spear”

### 3) 作曲部に所属

- 2016 学期末発表会で作品発表。曲名：「Fate は日和見主義なフクロウ (“Fate Is An Opportunist Owl”)」 (この楽曲を含むアルバムはアップルミュージックからリリースされたので出版・発表の項目にも記載しています)
- 2015 学期末発表会で作品発表。曲名：「バッハ、イタリアの下水を探訪 (“Bach Visiting the Italian Sewers”)」
- 2015 学期末発表会で作品発表。曲名：“Untitled #5”
- 2014 学期末発表会で作品発表。曲名：“The Tuning”
- 2014 学期末発表会で作品発表。曲名：“A Quiet Piece”

### 4) その他学内演奏会での楽曲提供

- 2016 ヘルツホール学期末演奏会のために、天体学者アレクセイ・フィリペンコ (Alexei Filippenko) 氏と菌類学者ジョン・タイラー (John Taylor) 氏の協力のもと、新しいフーガ形式を試みる「ポエトリー・フーガ第7番」を楽曲提供
- 2016 ソロ・エレキバイオリンのための「時折の不条理 (“Absurdity of Now and Then”)」 ヘルツホール・ランチコンサートシリーズで発表
- 2014 アート・ミュージアム・パシフィック・フィルム・アーカイブ (Art Museum Pacific Film Archive、略称 BAMPFA) にて、映画の映像に基づいてマルチメディアでコラボする「シネ・スピン (“Cine/Spin”)」企画に楽曲提供。バイオリン奏者としても参加

**2005-2013 :** 横浜インターナショナルスクール卒業 ジャズバンド所属

## --受賞歴--

- 2021 パリで開催された「世界音楽への分析的アプローチ国際学会 (Analytical Approaches to World Music Annual Conference in Paris) において一番優れた若手論文発表に与えられるロブ・シュルツ・ジュニア・スカラー賞 (Rob Schultz Junior Scholar Award in Composition) 受賞 (論文内容は出版の項目に記載しています)
- 2019 米国北カリフォルニアの劇場版アカデミー賞とも称される、シアター・ベイ・エリア賞 (Theatre Bay Area Award) の作曲部門にサンフランシスコのシアター・オブ・ユゲン劇団で作曲担当をした能楽とのフュージョン音楽劇「能クリスマス・キャロル (Theatre of Yugen at NOHSpace) がノミネートされる (作品は職務経歴書の項目にも記載しています)

## --出版・発表・作品の批評など--

- 2021 パリで開催の「世界音楽への分析的アプローチ国際学会 (Analytical Approaches to World Music Annual Conference in Paris)」において雅楽などの楽譜や作曲メカニズムを分析した研究成果を発表
- 2021 上記発表を基にした論文が国際学術ジャーナル『世界音楽への分析的アプローチ』に記載予定。論題：“Linguistic-syllabic cognitive mapping of sound in Japanese culture, interpreted through Japanese gagaku music”
- 2020 米国ハーバード大学 Music Forum Conference 2020 にて学術発表。雅楽器の作曲的可能性と唱歌の関係を、哲学的背景と絡めて考察
- 2017 『スター・ウォーズ』の音楽的パロディである独自の作曲プロジェクト『スター・ウォーズ・パリンプセスト』が米国カリフォルニア大学バークレー校のアートとデザイン雑誌に取り上げられる
- 2017 荘子の『胡蝶の夢』を哲学的に分析・解明する論文 (“Uncertainty, Detachment, and Zhuang Zhou’s Butterfly”) ブラウン大学哲学的学術ジャーナル『ア・プリオーリ (A Priori: The Brown Journal of Philosophy, vol. 2, April 2017)』記載

## --スキル--

### 1) 研鑽を積んだ楽器・得意なソフト:

- アコースティックバイオリン(古典音楽, 現代音楽、ジャズ、即興演奏)  
2009 東京オペラシティにて東京フィルハーモニー交響楽団チョン・ミョンファン指揮によるチャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」をトップセカンドバイオリニストとして演奏  
2007 第9回関西弦楽コンクール優良賞受賞(日本弦楽指導者協会主催)
- エレクトリックバイオリン (現代音楽、ジャズ、即興演奏)
- LogicPro などの DAW を用いた作曲、楽曲提供、編集経験豊富

### 2) 演奏できる楽器:

- 笙 (雅楽の笙を宮内庁楽部楽長多忠輝師に師事)
- 薩摩琵琶
- ギター (アコースティック、エレクトリック)
- ベースギター
- キーボード (古典鍵盤楽器のチェンバロも含む)
- トランペット
- プリペアド・ティン・ホイッスル (2015年作成、以後様々な楽曲に用いる)



### 3) 能楽

2002- 能楽狂言方大蔵流山本東次郎家山本東次郎師 (人間国宝)、山本則俊氏 (旭日双光受賞者) に師事。国立能楽堂での舞台経験もあり

### 4) 言語

日本語英語ともネイティブレベル  
フランス語 (簡単な読み書き、会話ができる)  
中国語 (習得中、特に古文中国語)

## 職務経歴書

主にフリーランスで作曲の依頼を受けながら、あらゆるジャンルの楽曲を提供してきました。能楽の要素を取り入れたフュージョン音楽劇の作曲担当や、短編映画の作曲担当、笑いをテーマにした音楽会の楽曲提供など、枠にとらわれない常に新しい音楽作りをテーマに、さまざまなジャンルにチャレンジし続けております。また、楽曲提供以外にもエンターテイメント関連のものも記載いたしました。

- 2021 能楽シテ方宝生流二十代宗家宝生和英師が企画した全日本空輸社の機内エンターテイメント用の能楽のプロモーションビデオ「能楽 Departure」の英文翻訳担当
- 2021 同師企画の伝統的な能楽に基づいた新しいフュージョン劇作品「生田敦盛」の英文翻訳担当
- 2020 アップルミュージック iTunes でオリジナルアルバム「Fate は日和見主義なフクロウ (Fate Is An Opportunist Owl)」をリリース
- 2020 プリンストン大学で開発されたバーチャル楽器のプリペアド・デジタル・ピアノ「bitKlavier」のためのエチュード楽曲を提供。出版進行中。DAWにも簡単にインターフェイスできる柔軟さが注目されている楽器であり、その楽器が秘めている新しい音作りのポテンシャルを活かせる楽曲を提供
- 2019-2021 米国プリンストン大学音楽学部音楽認識学および作曲学の研究員
- 2019 米国オートアタック・ゲームズ社のインディーゲーム「リージョン TD2」の作曲・サウンドコンサルタント担当
- 2019 米国インディペンデント映画製作者ノエル・カーベ (Noel Kabe) 監督の短編映画「ザ・ハーミット (The Hermit)」の作曲担当。当該映画は最優秀実験映画賞を米国アルタネーティング・カレンツ映画祭 (Alternating Currents Film Festival) で受賞するほか、あらゆる映画祭でファイナリストとして選出される
- 2019- 「楽器合体型楽譜」というコンセプトのもと、弦楽器マイスター工房、アンドレアス・プロイス (Andreas Preuss) 氏に楽曲を依頼され、ともに探求中
- 2019 琵琶奏者塩高和之氏に楽曲提供及び笙奏者としても携わる

2019 宝生和英師が率いた公益社団法人宝生会のアブダビ公演のためのプログラムおよびプロモーションビデオの英文翻訳

2018 弦楽器マイスター工房、アンドレアス・プロイス氏からの依頼で、「音楽のカレイドスコープ」シリーズの音楽会のために、笑いをテーマにした楽曲を、鈴木大介氏とレイ・イワズミ氏に提供。代官山ヒルサイドテラス・ヒルサイドプラザホールにて11月18日演奏会



2018 NHK (Eテレ) の「おもてなし基礎英語」の「Episode 93」「Episode 94」「Episode 95」「Episode 96」に出演

2017-2020 米国サンフランシスコのシアター・オブ・ユージェン劇団 (Theatre of Yugen at NOHSpace) 依頼で作曲担当。能楽とのフュージョン音楽劇、「能クリスマス・キャロル」のための楽曲提供。好評に付き、2018年、2019年にも引き続き上演される。様々な高評価のレビューを得て、ニューヨーク拠点の劇場ニュースサイト「ブロードウェイ・ワールド」には、「必見の作品」と絶賛される



2017 同シアター・オブ・ユージェン劇団で、オリジナル音楽劇「明日の音が聞こえる」の作曲・脚本・監督を担当

2015 米国サンフランシスコ・エメラルド・タブレット (Emerald Tablet) 主催、シェルデン・ブラウン・カルテット (Sheldon Brown Quartet) の依頼でバイオリンのためのジャズフュージョン楽曲提供。(楽曲名: “Gimme Some Context,” “Sleep’s Tree,” “If Only You Were Cool”) 演奏では、ジャズバイオリニストを担当

2014 恵比寿ウエスティンホテル依頼の夏季ロビー演奏